

## とうきょう すくわくプログラム活動報告書

|          |               |
|----------|---------------|
| 幼稚園・学校番号 | 2 7 7 4 4 1 0 |
| 施設名（園名等） | 鶴川若竹幼稚園       |

## 1. 活動のテーマ

&lt;テーマ&gt;

鉄棒

&lt;テーマの設定理由&gt;

約20年前から鉄棒の取り組みを通して非認知能力を育む取り組みを行ってきた。入園した時には鉄棒に一生懸命取り組む園児（お兄さんお姉さん）の姿があり、子ども達は日頃より鉄棒を一生懸命取り組む姿が見られる。その子ども達の鉄棒への興味関心をさらに深めるため。

## 2. 活動スケジュール

別紙、

- ・令和7年度 年少「縄跳び・鉄棒」実施計画
- ・令和7年度 年中「縄跳び・鉄棒」実施計画
- ・令和7年度 年長「縄跳び・鉄棒」実施計画

を参照。

### 3. 探究活動の実践

#### <活動の内容>

- ・活動のために準備した素材や道具、環境の設定
- ・活動中の子供の姿・声、子供同士や教諭との関わり 等を記載ください。

活動のために準備した教材は鉄棒 4 台、86 型電子黒板パネル、標準スタンド。  
環境設定：毎朝、園児が登園する前に鉄棒を園庭に設置した。外遊びをする際、最初に鉄棒にぶら下がったり、前回りをしたりしてから自由に遊ぶなど、普段から身近にある遊具として興味関心が持てるようにした。  
鉄棒にぶら下がるところから、顎のところで 10 秒キープ（ダンゴムシ）、坂道（補助具）を使って逆上がりが出来るようにするなど、スモールステップで行った。  
坂道を使った逆上がりができるようになると「見てみて」と近くにいる保育者に見てほしいと言う子どもが多くいた。年長は 1 人で逆上がりができるようになると足掛け回り、空中逆上がりなどの技に挑戦する子どもが多く出てきた（探求心）。  
体育指導の中で電子黒板を使い、見本となる子どもの動画を撮り、体育講師がポイントを解説して出来るようにした。

別紙、活動風景（鉄棒）を参照。

### 4. 振り返り

#### <振り返りによって得た先生の気づき>

普段の保育の中に鉄棒を取り入れ興味関心を持つようにした。  
逆上がりが出来る子どもが増えると、他の子どもたちも感化されて挑戦する姿が見られた。出来た子どもを褒めるよりも、練習している子ども、挑戦している子どもを褒めるとモチベーションが保たれて、逆上がりができた後も、他の技に挑戦する探求心につながっていると考察する。

## とうきょう すくわくプログラム活動報告書

|          |               |
|----------|---------------|
| 幼稚園・学校番号 | 2 7 7 4 4 1 0 |
| 施設名（園名等） | 鶴川若竹幼稚園       |

## 1. 活動のテーマ

&lt;テーマ&gt;

縄跳び

&lt;テーマの設定理由&gt;

約20年前から縄跳びの取り組みを通して非認知能力を育む取り組みを行ってきた。入園した時には縄跳びに一生懸命取り組む園児（お兄さんお姉さん）の姿があり、子ども達は日頃より縄跳びを一生懸命取り組む姿が見られる。その子ども達の縄跳びへの興味関心をさらに深めるため。

## 2. 活動スケジュール

別紙、

- ・令和7年度 年少「縄跳び・鉄棒」実施計画
- ・令和7年度 年中「縄跳び・鉄棒」実施計画
- ・令和7年度 年長「縄跳び・鉄棒」実施計画

を参照。

### 3. 探究活動の実践

#### <活動の内容>

- ・活動のために準備した素材や道具、環境の設定
- ・活動中の子供の姿・声、子供同士や教諭との関わり 等を記載ください。

活動のために準備した教材は縄跳び 50 本、86 型電子黒板パネル、標準スタンド。  
環境設定：毎朝、園児が登園する前に環境設定をするようにした。外遊びをする際、年少下駄箱付近にカゴに入れて縄跳びを置き、興味関心が持てるようにした。  
年中からは縄跳びを個人持ちの教材として購入いただき、外遊びをする際には必ず外に持っていき、所定の場所に置くように指導した。連続跳びが跳べるようになると「数えてー」と意欲的に取り組む子どもが増えた。100 回以上跳べるようになるとあや跳び、交差跳び、二重跳びなど挑戦する子どもが出てきた。  
体育指導の中で電子黒板を使い、見本となる子どもの動画を撮り、体育講師がポイントを解説して連続跳びを出来るようにした。

別紙、活動風景（縄跳び）を参照。

### 4. 振り返り

#### <振り返りによって得た先生の気づき>

保育者が促すよりも子どもが興味関心を持つようになると意欲をもって取り組むので、そうした子どもはどんどん伸びた。  
出来た子どもを褒めるよりも、練習している子ども、挑戦している子どもを褒めるとモチベーションが保たれて、できた後も、色々な跳び方に挑戦する探求心につながっていると考察する。